

あ な た と 市 政 を む す ぶ



広報  
No.200

# かんおんじ

2022 / 令和4年

6 June

## 広報かんおんじは200号を迎えました



声の広報に26年間協力  
朗読ボランティアのなのはの皆さん





## 創刊号を振り返り

広報かんおんじの発行第1号は、旧観音寺市、旧大野原町、旧豊浜町の市町合併後の平成17年11月号でした。



当時の広報紙の表紙には、新市誕生を記念するテープカットの写真、巻頭6ページにわたって、新市の特集記事を組みました。



井上寿希斗ちゃん

## 創刊号のハローキッズ！ 17歳の現在

1歳の赤ちゃんを紹介する、広報紙の「ハローキッズ！」コーナー。創刊号で登場した井上寿希斗さんも、現在は17歳の高校3年生です。ゲームが大好きで、プログラミングを専門的に学びたいと高校2年時に通信制高校に編入。普段は自宅からオンラインで授業を受けています。

寿希斗さんは「将来はゲームに関わる仕事がしたい。転校を決めたとき、両親は『自分の決めたことには責任を持ちなさい』と認めてくれた。今の自分がいるのは親のおかげなので、ありがとうございます」と話します。将来の夢に向かって頑張ってくださいね。

### 母・幸代さんからのメッセージ

当時の広報紙に寄せた「みんなに好かれる、優しく明るい子どもでいてね」という願いどおりに育ってくれました。今のまんま、思うように素直に、色んなことにチャレンジしてほしいと思います。

井上 寿希斗さん (本大町)



# 200号を迎えました

毎月、全世帯にお届けしている広報かんおんじは、6月号で200号を迎えました。200号を記念し、広報紙を支えてくれている市民ボランティアの皆さんや元広報担当者の紹介、コロナ禍での広報紙作りのこだわりなどをお伝えします。

## 表紙を振り返り

広報紙の表紙は市の変化や季節、話題を映します。

広報紙バックナンバーは市ホームページから閲覧できます



平成18年9月号

県広報コンクール広報紙部門で最優秀賞。交通指導などに尽力する常磐地区イエロー隊を紹介



平成26年2月号

広報紙発行100号記念



平成27年10月号

市合併10周年記念



平成29年3月号

4月に開館する新・観音寺市民会館（ハイスタッフホール）を紹介



平成29年10月号

県広報コンクール一枚写真部門で最優秀賞を受賞（表紙）。日本学生トライアスロン選手権大会の熱戦の一場面



令和4年1月号

佐伯新市政へ。市長の政策目標や観音寺市への思いを紹介



# 元 広報担当者に聞く！良い広報紙作りのこだわり

市町合併前、旧豊浜町で広報担当をしていた藤村さんに広報紙作成の思い出やこだわりを聞きました。



藤村 清さん（豊浜町）

昭和47年旧豊浜町役場に入庁。平成元年7月～平成7年3月まで広報担当を務める。県広報コンクールで2年連続最優秀賞を受賞

広報紙には、作り手の思いや熱量が表れる

建設課から畑違いの広報担当（総務課）に異動になったときは不安でしたが、やるしかないという覚悟を決めました。苦労してできた最初の広報紙を、当時の合田町長が赤ペンで添削して渡してくれたのを覚えています。真っ赤に修正された広報紙を見て衝撃を受けたものの、それだけ広報の大切さを理解して下さっていました。

も頻繁に取材に向き、レイアウトは1ミリ単位で指示を出していました。そのころは、原稿は手書きで、締め切り前は徹夜して書き上げたことも。「うちの広報紙すごいやん」と皆さんに思っていたきたいと、県広報コンクールにも応募しました。初めて受賞した時は嬉しかったです。



一の宮公園ドリームタワー前の石碑には、藤村さんが広報紙に書いた文章が使用されています



最も思い入れのある平成6年12月号。町青年団が全国青年野球大会3位に。4日間試合に密着取材



当時使っていたフィルムカメラ。取材中、感動してカメラ越しに涙したことは数え切れず

## プレゼントクイズ

クイズ正解者の中から抽選で10人に観音寺市グッズ(非売品)をプレゼント!



＜プレゼント内容＞  
扇子、手拭い、エコバッグ

### <クイズ> 広報かんおんじは創刊〇〇〇号

#### <アンケート>

- 1 広報紙でよく読むページを教えてください。
- 2 広報紙で取り上げてほしい内容やもっと知りたい情報、日常生活で困っていることがあれば教えてください。
- 3 広報紙に関するご意見、ご感想があれば教えてください。

#### <応募方法>

郵便はがきにクイズの答えとアンケートの回答、住所、氏名、年齢、連絡先を明記の上、6月30日(木)までに下記へ送付してください。(当日消印有効)

〒768-8601 (住所記載不要)  
観音寺市秘書課広聴広報係

WEBからの応募も受け付けています



# 26年にわたり声の広報を担当「朗読ボランティア ののはな」

目の不自由な人のために広報紙の朗読CDを作成している皆さんを紹介します。



声の広報に携わる皆さん。前列左から、安藤俊恵さん（流岡町）、福田久美子さん（流岡町）、小西紀子さん（西本町）。後列左から、大平眞理子さん（大野原町）、村上恭子さん（柞田町）、富原稔さん（高屋町）、大森瑞枝さん（吉岡町）、合田ゆかりさん（坂本町）

「朗読ボランティアののはな」は、平成7年11月に発足。旧観音寺市の平成8年4月号から26年にわたって、目が不自由な人のために広報紙を朗読し、CDを作成する「声の広報」に携わってきました。

以前は皆で集まり、朗読と録音をしていましたが、現在は、新型コロナウイルス感染症防止対策のために各自が自宅で録音作業をしています。伝わりやすい表現やアクセントなどに気を配り、何度も録音し直して納得できる朗読に仕上げられています。猫の鳴き声や電話の音などが入ってしまうこともあるのが、自宅録音ならではの悩みです。

「聞いてくださっている人の顔を思い浮かべて、毎月ワクワクしながら朗読している」デジタルの時代でもそれぞれの声で情報をお届けできることが喜び」と話す皆さん。これからも、ご協力をお願いします。

### 朗読ボランティア ののはな

活動に興味がある人は問い合わせてください。☎観音寺市社会福祉協議会 ☎25-7773

### 声の広報

視覚に障がいがある人や目が不自由な人は自宅にCDを郵送します。☎秘書課 広聴広報係 ☎23-3915



定期的に発声や朗読練習を行っています



ののはなの活動は、厚生労働大臣や鉄道弘済会などから表彰されています





## 広報紙ができるまで

発行月の1カ月前から、広報紙制作は始まります。広報かんおんじができるまでの流れを紹介します。

広報担当者の取材や原稿作成に欠かせない道具。一眼レフカメラや腕章・名札、ノート。辞書もちろん手離せません

開始!

各課  
原稿提出

各課や関係機関から情報を集めます

原稿校正  
特集企画

読みやすくするため文章を適宜修正。同時に特集記事の企画を行います

取材

行事の写真撮影や特集記事に登場する人にインタビューを行います

レイアウト  
作成

パソコンで、原稿や写真、イラストを配置しレイアウトを作成します

完成!

納品  
配布

月末までに全世帯へ広報紙を配付。声の広報CDも希望者へお届けします

色校正  
印刷

印刷会社で、印刷紙面の色合いを確認し、印刷・製本を依頼します

最終校正

広報担当などで全紙面の確認を行います

各課  
原稿校正

各課が紙面に誤りがないか確認します

広報紙を開いていただけるように

広報紙は秘書課広聴広報係の3人で制作しています。行政情報はどうしても固い内容になりがちで、読みやすくするためにどうしたらよいかと毎月頭を悩ませています。また、単に情報をお知らせするだけでなく「観音寺市に住んで良かった」と誇りを持っていただくきっかけになればという願いを込めて特集記事などを制作しています。

これまで取材で多くの市民の皆さんにお会いしてきました。突然取材をお願いすることもありますが、どなたも快く協力してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。また、「広報紙を楽しみにしています」「特集記事読んだよ」と声を掛けていただくと、嬉しくて涙が出そうになります。

広報紙の表紙を開いて、読んでいただけるように、そして、届くのが楽しみになるような広報紙作りをこれからも目指していきます。

## コロナ禍での広報紙作り

2020年4月、全国に緊急事態宣言が発令。外出自粛や感染防止対策の徹底が求められる中、今まで当たり前のように開催されてきた季節のイベントや行事が中止となりました。

取材ができなくなり、どのように広報紙作りを行っていくかを広報担当者として考えました。「行事の取材ができないなら特集記事を充実させよう」「コロナ禍の様子を記録に残そう」と努めてきました。

2020年  
(令和2年)



令和2年4月号  
保育所での手洗いの様子を表紙にし、感染防止対策を呼び掛け



令和2年6月号、7月号  
マスク着用での夏を前に熱中症対策などを呼び掛け

コロナを伝える



令和3年2月号  
マスク着用での成人式を紹介

2021年  
(令和3年)



令和2年8月号、9月号  
市内の戦争の記録、100年続くハウナン梨の紹介など大型の特集記事を組みました

取材ができないなら、特集記事の充実を



令和3年1月号  
「特集 新年に見たい絶景」県外への外出自粛が呼び掛けられる中、市内の絶景を再発見する特集記事を掲載

2022年  
(令和4年)



令和2年10月号  
大林宣彦監督の追悼特集。県広報コンクール広報紙部門と一枚写真部門(表紙)で最優秀賞、全国広報コンクール入賞



令和3年11月号  
県立ミュージアムの展示に合わせて市内にあった映画館を特集。県広報コンクール広報紙部門で優秀賞